

かさくさるま

34号
連携の風

SPECIAL 高度医療機器共同利用のご案内



TOPICS ● 北海道胆振東部地震の対応を振り返って
～災害拠点病院としての市立札幌病院の活動記録～

CLOSE UP ● 夏休み親子病院見学ツアー

INFORMATION ● 連携医療機関のご紹介
● 平成30年度地域医療支援病院実績報告
● 『Dr to Dr患者紹介専用ダイヤル』をご利用ください



市立
札幌病院

● **基本理念**
すべての患者さんに対して
その人格・信条を尊重し、
つねに“やさしさ”をもって診療に専心する

● **運営方針**

- ① 患者さんの人格を尊重し、患者さんに信頼される医療を行います。
- ② 地域医療支援病院として、地域医療の充実・発展に貢献します。
- ③ 高度急性期・急性期医療を担い、安全で質の高い医療を提供します。
- ④ 自治体病院として他の医療機関では対応が困難な政策医療を提供します。
- ⑤ 医療技術の向上を図り、優れた医療従事者を育成します。
- ⑥ 全職員が連携し、信頼しあう、明るく誇りの持てる「チーム市立札幌病院」を作ります。
- ⑦ 公営企業として健全な財政運営を図ります。

放射線関連高度医療機器 共同利用のご案内

当院放射線部では、地域医療支援病院としての使命を果たすため、放射線関連高度医療機器の整備を計画的に行い、院内はもちろん院外からの検査依頼への迅速な対応を行なっています。

特に、画像診断専門医が常勤していることから、

検査方法についても柔軟に対応しています。今回はCT検査、MR検査、PET/CT検査、マンモ検査のご紹介と、施設の共同利用についてご案内をさせていただきます。

1. CT 検査

320列CTは、動きによるアーチファクトの少ない画像データを収集できるため、心臓CTや全身動脈造影撮影、全脳高速撮影などを行い、手術支援を含む3D画像の作成・提供も行なっています。

心臓CTは、冠動脈の狭窄や石灰化の評価には確かな実績があります。

また、逐次近似法による画像再構成技術により、従来に比べて医療被ばく線量の低減が可能となっています。



2. MR 検査

3.0T装置と1.5T装置の2台体制で当日の緊急検査依頼にも完全対応（CTも同様）しています。

当院の装置は、ノイズの少ない画像作成を行なうことができます。また、MR対応ペースメーカー装着の患者様でも安全に検査を受けていただくために院内各部門の協力を得て検査実施の為に施設認定を取得しています。

MRI検査による認知症診断（VSRAD）は、核医学SPECT検査と並び「認知症鑑別診断」には、有用であることが知られています。

マンモMR撮影等では、女性スタッフのみによる対応を行なっています。



3. PET/CT 検査（核医学検査）

当院の装置はTOF-PET（タイムオブフライトPET）と呼ばれる装置で、腫瘍の位置情報を正確かつ明瞭に描出することができます。腫瘍の検出感度を上げ、定量精度の向上、呼吸同期撮影時間の短

縮や、CT吸収補正信頼度の向上により有用な画像情報を提供させていただいております。

心サルコイドーシスのPET検査も実施しており、ステロイド治療の効果判定に役立てられています。

予約にも柔軟に対応できますので、治療方針決定や抗がん剤治療の効果判定やフォローアップにも時間を要することはありません。

脳血流SPECT、ドパミントランスポーターシンチグラフィ、MIBG心筋シンチグラフィなどの機能画像検査にも対応しています。



4. マンモ検査

マンモ撮影装置は、当院従来装置より少ない放射線量で画像を得ることができ、2Dマンモ撮影はもちろん、乳腺組織の重なりを低減し病変が観察しやすい3Dマンモ撮影(デジタル・プレスト・トモシンセス)も可能となり、3D画像の診断は、乳腺外科医師、放射線診断科医師によって行なわれます。

圧迫による痛みが少なくなる様にデザインされており画像の描出能の向上にも寄与しています。また、マンモグラフィー撮影専用の椅子も導入し立位での撮影が困難な患者様の撮影も容易になり、緊張を和らげ、リラックスして検査を受けていただけるよう女性スタッフによる撮影対応とさせていただいて

います。

バイオプシー検査では、縦・横の2方向からのアプローチが可能となり従来に比べ検査時間の短縮が可能になりました。

当院施設は、日本乳がん検診精度管理中央機構による「マンモグラフィー検診施設画像認定」を受けており、撮影する女性スタッフはマンモ撮影認定の受講を修了しています。



各検査室(CT、MR、PET/CT、SPECT/CT)には看護スタッフも常時配置されており安全に検査を受けていただける他、検査結果については経験豊富な画像診断専門医により迅速に報告書を作成します。

放射線検査による医療被ばくにつきましても、放射線量の最適化や、日々の品質管理にも取り組みな

がら、より安全で有用な検査を受けていただけるよう努めています。

各検査予約は、ご希望の日程での調整が可能ですので担当窓口にご相談の上、安心して当院の放射線関連高度医療機器をご利用ください。

■高度医療機器の共同利用の受付窓口

- 札幌市医師会会員の医療機関さま(地域医療室直通) TEL 011-707-7705
FAX 011-707-7706
- // 以外の医療機関さま(地域連携センター直通) TEL 011-726-7831
FAX 011-726-7832

■検査結果の確認には『すずらんネット』をご利用ください

当院のICT連携『すずらんネット』は、「インターネット環境」「患者さんの同意」※の2つが揃うだけで、高度医療機器の画像データだけでなく、血液・細菌検査結果、内服、医師・コメディカルの診療記録等が24時間閲覧可能となります。さらに登録料、年会費等はい

ただいております！

ぜひ、高度医療機器とセットでご利用ください！

詳しくは、「すずらんネット」で検索いただくか、すずらんネット運営事務局(011-726-2211内線2934)までご連絡をお願い致します！

※インターネット環境には、一部条件があります。

北海道胆振東部地震の対応を振り返って

～災害拠点病院としての市立札幌病院の活動記録～

●災害対策本部を設置。通常診療の実施と救急患者受入れ態勢を確保しました。

平成30年9月6日午前3時7分に発生した北海道胆振東部地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当院では発災直後、速やかに災害対策本部を立ち上げ、入院患者や職員の安否を確認するとともに、施設の被害状況、自家発電装置の稼働状況（フル稼

働で3日間分）、電子カルテの運用状況を確認し、当院に地震による被害はないことを確認しました。

次に、多数の傷病者の搬送に備えると同時に、全ての外来及び入院、手術についても通常どおり治療ができるよう態勢を整えました。



救急患者の搬入に備えるスタッフ



災害対策本部の様子

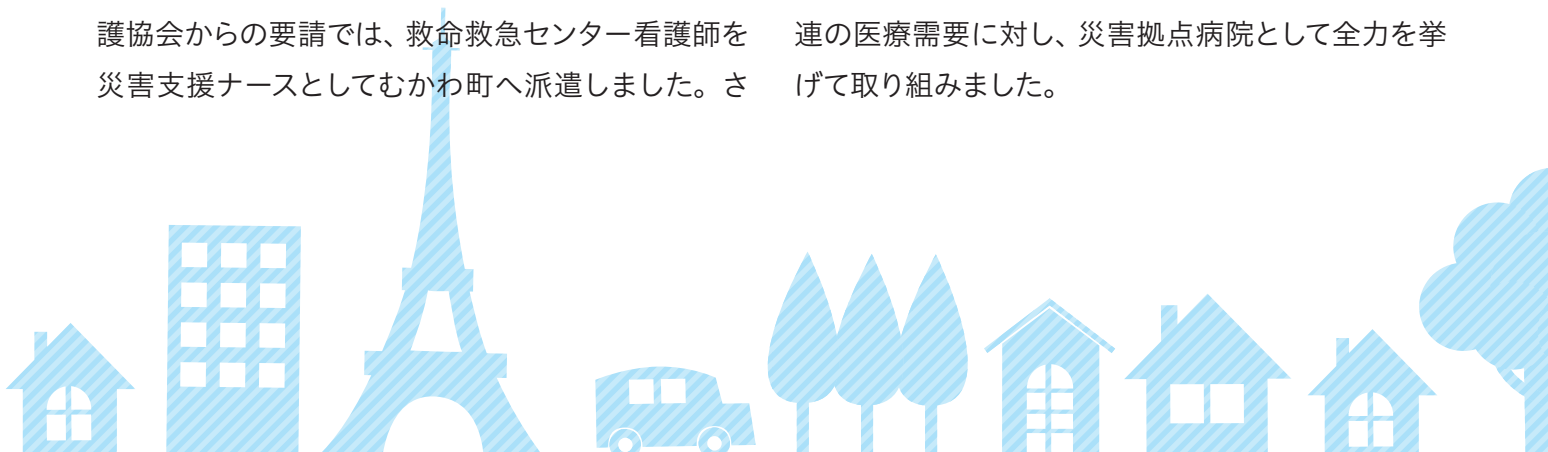
道内全域での停電の影響は大きく、電源確保に不安を生じた他の医療機関や在宅医等から、人工透析や人工呼吸器等、電源を必要とする患者さんを

中心に受入れの問い合わせが相次ぎ、結果として地震関連で受入れた患者さんは通算124人にのぼりました。

●各地へ災害派遣医療チーム「DMAT」や災害支援看護師らを派遣しました。

北海道からの要請を受け災害派遣医療チーム「DMAT」を医療機関等へ派遣したほか、北海道看護協会からの要請では、救命救急センター看護師を災害支援ナースとしてむかわ町へ派遣しました。さ

らに清田区の避難所には、精神看護専門看護師らを派遣して健康相談業務を行うなど、多くの災害関連の医療需要に対し、災害拠点病院として全力を挙げて取り組みました。



●多くの企業・団体からのご支援を受け、必要な物資を確保しました。

停電の復旧に1週間程かかる見込みであるとの情報に、食糧確保を心配される方が多数院内の売店を訪れ、地震発生当日のうちに陳列されていた商品のほとんどがなくなりました。当院としても、物流の停滞等の影響により、食料や医薬品等の物資の十分な調達が見通せず、安定した診療の継続に懸念がありましたが、幸いにも当院の要請に対して、多くの企業、団体の皆様からご支援をいただき、安心して診療を継続することができました。

また、停電の復旧には時間がかかる見込みであったことから、全道的な節電要請もあり、当院でもエレベーターの稼働時間縮小や照明の間引き等、診



院内売店の様子

療に影響を与えない範囲において、節電に取り組みました。

●地震対策の振り返り、そして日頃からの備えの大切さを再確認しました。

対応が一段落した9月10日(月)夕方、関院長より発災直後からの対応を振り返ったほか、職員へ労いの言葉がありました。



関院長より職員に向け講話

今回の地震対応で円滑に対応できたのは、災害拠点病院として施設設備を計画的に行い、大規模災害を想定した訓練を毎年行うなど、周到に災害対策に取り組んだ結果と考えています。

しかし、災害対策に終わりではなく、今回の地震対応をしっかりと振り返り、災害拠点病院として地域の皆様からさらに信頼されるよう、今後の災害発生に備え、万全を期してまいりたいと考えております。



夏休み親子病院見学ツアー



屋上ヘリポートにて

平成30年8月5日(日)地域の小学校の子どもとその親を対象にした「夏休み親子病院見学ツアー」を実施しました。

このツアーは地域の子供に、市立札幌病院の役割をもっと知ってもらうことや病院のお仕事に興味を持ってもらうことを目的に開催しました。

当日は、小学校高学年の親子13組が参加し、救命救急センター、放射線部、薬剤部、手術室、屋上のヘリポートを見学し、子供から各説明者にたくさんの質問があり、賑やかな雰囲気になりました。

また、体験コーナーも設置し、手の正しい洗い方や災害食の試食、顕微鏡体験、お薬の調剤や車イスなどを使ってのリハビリ、看護師体験を行い子供たちは夢中で楽しんでいました。

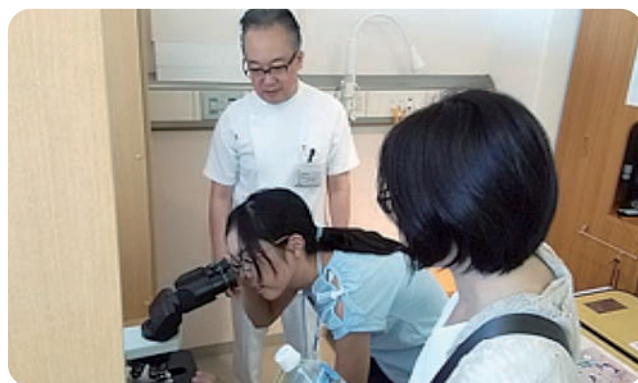
参加者からは「救命救急センター見学や薬剤部体験などがおもしろかった」、「普段行けないところに行けて良かった」との感想や「次回は医者や看護師の仕事を実際に体験してみたい」との声が寄せられていました。



災害時に簡単に作れる蒸しパンを伝授!



ハイブリッド手術室を見学



血液を顕微鏡で見ると!?

連携医療機関のご紹介



院長 米田 明弘

2014年4月、市立病院の向かい桑園メディカルプラザ(サンエーアインビル)の3階に桑園オリーブ皮膚科クリニックを開設し、4年ほどが経ちました。

当院は、こどもからお年寄りまで皮膚にトラブルを抱えていらっしゃる方に対して、

アトピー性皮膚炎、じんましん、にきびといった一般的な疾患から、シミや皮膚腫瘍のレーザー治療まで幅広く、安心して医療を受けていただけるよう心がけております。

開業前は、札幌医大皮膚科で長年、外来及び病棟で診療を担当しており、近隣のクリニックより患者さんをご紹介いただく立場でした。今では逆に、市立病院に患者さんを紹介させていただきながら、診療をさせていただいています。

重症の帯状疱疹の方、入院が必要な手術、珍しい皮膚疾患で

診断に苦慮する場合など、市立病院に紹介をさせていただいております。

非常にスムーズな連携を取らせていただいているおかげで、患者さんにとっても多くのメリットをご

提供出来ているのではないかと思います。

患者さんは、どの程度重症か、ご自分ではわからないことも多いと思いますので、まずは当院で評価をさせていただき、必要ならば、市立病院でより高度な医療を受けていただく、あるいは逆に症状が落ち着いたのちには、アクセスのしやすい町医者として、当院でフォローをさせていただくという形で、地域に貢献できるのではないかと考えております。

桑園地区で唯一の皮膚科専門医として、地域の皆さんに愛されるクリニックを目指しておりますので、お気軽に受診してください。

当院は、再診の方は電話やインターネットで予約をお取りできます。より少ない待ち時間での診療に心がけております。

よくある皮膚病に対して、ベストな治療を提供できるよう努めてまいりますので、今後とも何卒よろしくお願いたします。



◆キッズスペースがあるので、お子様連れでも安心です。

●案内図



●診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00 12:00	○	○	○	○	○	○	休
12:00~13:00	手術	手術	手術	手術	手術		
14:30 18:30	○	休	○	休	○	休	休

新任医師紹介



糖尿病・内分泌内科
みよし ありな
三次 有奈

糖尿病、内分泌ともに専門ですので、お困りの症例がございましたらご紹介いただけますと幸いです。



糖尿病・内分泌内科
たかはし きよひこ
高橋 清彦

はじめまして、市立札幌病院には研修医以来7年ぶりに戻って参りました。専門分野は、糖尿病、内分泌疾患です。どうぞよろしくお願いいたします。



腎臓内科
はったんだ ふみひこ
八反田 文彦

7月より市立札幌病院に赴任致しました。腎臓内科医として地域医療に貢献できるよう努めます。



皮膚科
ふじむら ゆう
藤村 悠

8月に着任しました、藤村悠です。この病院でできる限り多くの経験を積み、札幌市の医療に貢献できればと考えています。よろしくお願いいたします。



新生児内科
のがみ まさお
野上 正雄

きめ細やかな新生児医療を行えるように日々精進してまいりますので、何卒よろしくお願申し上げます。

市立札幌病院は平成30年4月より

「DPC特定病院群」に指定されています。

DPC特定病院群は、幅広い疾患の診療や重症な症例の診療など大学病院並みの医療を提供している病院が指定されるものです。道内では当院を含め7か所の病院が指定されております。

市立札幌病院は高度な医療を提供し地域の医療機関の信頼に応えます。

平成30年度地域医療支援病院実績報告

(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

●医療機器共同利用実績

	H30年度 4月～9月 医療機器別	共同利用 医療機関 実数
PET-CT	9	7
CT	239	33
MRI	139	28
超音波	43	13
骨塩定量	50	4
消化器内視鏡	29	15
RI	111	14
その他	2	2
全医療機器計	622	116

●救急患者件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
救急患者数	556	579	569	698	706	754	3,862

●紹介率・逆紹介率

	計
初診患者数	7,764
紹介患者数	6,184
紹介率(%)	79.6%
逆紹介患者数	8,098
逆紹介率(%)	104.3%

●開放型病床利用

	計
延べ共同利用医療機関数	7
延べ利用患者数	58
病床利用率(%)	0.06%

『Dr to Dr 患者紹介専用ダイヤルをご活用ください』

～紹介する診療科に迷う場合は「臨床研修センター」をご指定ください～

“緊急である”“困難症例である”等の事情から、通常の紹介経路では受入れに時間を要するケースに対応するため、2016年8月に外部の医師から当院の医師へダイレクトに繋がる『Dr to Dr患者紹介専用ダイヤル』を開設しました。2年が経過した現在も月平均80件程度のご利用があり、順調に稼働しております。地域の先生方からは、「指定した診療科や医師へ直接繋がるのが良い」と好評をいただく一方で、「症例によって指定する診療科に迷う」とのご意見が寄せられております。そのような場合は、ぜひ「臨床研修センター」をご指定ください。当センターは、研修医と経験を積んだ各診療科の指導医が共に診療にあたる、いわゆる総合診療科としての役割も担っておりますので、安心して患者さんをご紹介ください。今後も、『Dr to Dr患者紹介専用ダイヤル』をご活用ください。



Dr to Dr 患者紹介
専用ダイヤル

TEL: 011-788-6570 (月から金[祝日除く] 8:45～17:15)

ホームページもご利用ください

市立札幌病院

